

令和3年度 長福会デイパーク大府事業計画

【基本理念】

私たちは、地域に開かれ、利用者・入居者、家族、地域に愛され、頼られる「デイパーク大府」を目指します。

【基本方針】

私たちは、利用者・入居者への思い、生活スタイルを大切に、一人ひとりが望む生活 に向けた支援に努めていきます。

【法人全体】

① 地域との交流・地域貢献への取り組み

近隣地区への清掃活動、WEB やリモートを活用し、感染症予防を徹底し、地域住民 地域に開かれた施設運営を継続する。

② 職員の資質向上

5年毎キャリアアップ計画の更新（2度目）

新人・若手・中堅・管理職各セクションでの研修体系の継続的な実施。

介護福祉士資格のための研修費や試験費用の助成制度の運用、教育訓練休暇制度の定着
セルフキャリアドック制度活用にてキャリアコンサルティングの実施

WEB研修会の拡大、Q C活動報告の継続によるケアの質向上。

③ 職場定着環境支援の取り組み

評価処遇、研修、健康づくり、職場内コミュニケーションの円滑化、メンター制度（5年目）、
雇用管理制度導入し、職員の離職率の低下に取り組みます。

職務、職責、職能、資格勤続年数に応じて階層的に定める、賃金制度の整備経過5年目の評価と継続的な取り組み推進します。

ハラスメント防止窓口の活用、勤務時間の柔軟な対応、半日公休活用、介護と仕事の両立支援制度、育児と仕事の両立支援制度を確立し、働きやすい職場づくりに邁進します。

④ 働き方改革・こころの健康対策

腰痛予防対策・ストレスチェック・メンタルヘルス研修・勤務時間の柔軟な対応・休暇取得推進など職員の健康にむけた取り組みを積極的に実施していく。

働きやすい職場環境、労務管理の徹底、介護ロボットの導入、福祉機器の有効利用
勤務時間分単位での時間管理の徹底、同一労働同一賃金の処遇改善

⑤ 防災への取り組み

災害や事故、感染拡大の事態を想定し、法人全体でのBCP（事業継続）計画の作成と非常食備蓄の更なる充実図り、福祉避難所としての整備を強化する。

防災訓練等においては地域住民、関係者との連携を今後も積極的に図っていく。

⑥ 中長期計画の検討

新館大規模修繕の計画、建物、設備の更新実施地等、地域課題に向け法人として果たすべき役割、取り組むべき事業に向けた計画づくりをする。

利用者、家族に満足いただけるサービス提供を法人全体で効果的に取り組めるように必要な人材確保、人材育成の中長期的計画を策定する。

【各事業所】

特別養護老人ホーム 定員 80 名

- ・ 感染予防に努め標準予防策（スタンダード・プリコーション）の徹底
感染経路の遮断、清掃・消毒を定期的実施し、施設内感染を起こさない。
- ・ 職員教育の実施継続。ウェブ研修にも積極的に参加できるように研修回数を増やし考える力のある職員を育てます。
- ・ サービスの質の向上を目指します
入居時及び身体状況の変化に応じてアセスメントを実施しプランを作成
多職種連携し会議で検討し入居者様を中心とした個別ケアを行っていきます。
機能訓練についても個別で検討・実施し、穏やかな日常の中にも楽しみの
ある生活を目指します。
- ・ 入居前からの人生に寄り添いご家族様との関係を大事にし新しい生活様式の中
ウェブ面会やご様子報告を活用致します。お体の健康維持に努めますが、自然な
体力の衰えや変化にも対応できるように、医師との連携も密に終身まで見させて
いただきます。
- ・ 食事・排泄・入浴等の介護方法の検討を常に実施致します。
- ・ 職員の勤務時間を入居者様の生活に合わせて柔軟な対応ができるように検討して
いきます。
- ・ 空室期間の短縮、入院期間の短縮、退居から新規入居の期間短縮、予測しながら
面接の実施、外部機関ともスムーズに連携をとっていきます。

【計画目標】 平均介護度 4 稼働率 97.5%

1. 大流行し、いまだ終息が見えない新型コロナウイルスやインフルエンザ等に対し感染予防対策を継続します。
 - ① ご利用者の入所前検温の実施、職員の就業前検温や体調確認の実施、各テーブルにクリアパネルの設置 等の継続。
 - ② ご家族に対しても新型コロナウイルスに関する情報をお手紙で出し、基本ご利用時は面会
は中止し WEB での面会をお願いしております。
2. 次年度も稼働率 90%に目標を定め、定期的な新規ご利用者の契約や受け入れが出来るよう営業活動や援助の質の向上に努めます。
 - ① ご利用者・ご家族様・ケアマネジャーとの信頼関係の構築や援助サービスの質の向上に努めます。
 - ② 前年度は介護経験の浅い職員が入ったこともあり、事業所内で新人育成担当を任命し新人育成に力を入れてまいりました。
 - ③ 新人育成担当者や上司により職員に対し定期的な面接を行い指導、育成をフロア内にて取り組んでまいりましたので今後も継続します。
3. 昨年度は本館改修工事とナースコール更新、昨年度はカーテンを新調いたしました。本年度もご利用者が過ごしやすい生活空間が提供できるよう、環境の整備努めます。
 - ① 老朽化した本館 6 階浴室の寝台浴・チェアー浴の更新を検討致します。
4. 緊急入所に柔軟に対応し、ご利用者・ご家族の負担の軽減に努めます。レスパイトに対しても積極的に受け入れを行ってまいります。
 - ① 今年度、虐待困難ケースのご利用者も 3 件程受入れ援助を行いました。今後もそのような事例に関しても受入れを行ってまいります。
 - ② ご利用者及びその家族からの虐待などに関する苦情処理体制の整備を行ってまいります。
5. 介護保険改正に関し広くアンテナを張り、新たな変更内容に柔軟に対応が出来るように努めます。
 - ① 新たな加算取得も視野にいれながら、介護保険の改正の内容に注視してまいります。

【計画目標】 稼働率 90% 年間 9855 名

通所介護事業所（第 1 デイサービス）案 定員 30 名

- ① 感染予防対策について
 - ・新型コロナウイルス防止対策を引き続き徹底し、職員の感染症に対する意識付け、知識、防止策の方法を高め介護サービスの提供に努めます。
 - ・福祉用具消毒、環境整備と管理

② サービスの充実

- ・個別機能訓練については、利用者の個別性、在宅生活に配慮しつつ、個別に立てられた生活機能の維持向上、介護予防を図るプログラムの継続と勉強会を行います。
- ・アクティビティケアとして生き生きとした生活を取り戻すため、心身を活性化してもらい、喜びや楽しみを見つけ出して、心を動かすことを目的とし活動して行きます。
- ・利用者個人の心身状態及び地理的状况等を考慮した送迎車両・送迎ルートを設定し無理のない送迎サービスを提供します。また、安全第一を念頭に置いた走行及び車両定期的な点検・整備を行い利用者の安全確保に細心の注意を払うとともに、車両内外の清掃を徹底し、利用者が快適に乗車できるように努めます。

③ 新規利用者の開拓及び広報活動

居宅介護支援事業所に月1回訪問し顔のみえる関係作りを継続します。
パンフレット・デイのレクリエーションご案内でアピールし利用者の在宅生活、
家族の在宅介護をサポートします。

④ 職員の資質向上

施設内外の研修にて利用者のサービスに低下を来さぬよう工夫して多数が参加できるようにします。参加できない場合はデイサービスの月1回の会議にて開催します。
・在宅生活の継続の支援のために、利用者・家族・職員間の情報の共有を行います。
気づきを記録に残し家族・職員間の情報の共有に活用します。

【計画目標】 稼働率 88% 年間 8,236 名

第2 デイサービス 定員 30 名

・感染予防対策

- (1) 新型コロナウイルス及びインフルエンザ等の予防対策を引き続き徹底し、職員の感染症に対する意識付け、知識、防止策の方法を高め介護サービスの提供に努めてまいります。
- (2) 事業所内の備品（福祉用具）等の清掃、消毒の徹底

・サービス内容の見える化

- (1) 年間行事・月案・週案を立て、テーマを持ちスタッフが変わっても、同じサービスが提供できるように努めます。また、日ごとの個別レクや機能訓練についても、利用者様が一目でわかるように毎日明記することとし、効率よく取り組めるよう配慮していきます。
- (2) リハビリの目標設定・目標達成度を個々に明確にし、本人の向上意欲を高めながらデイサービスに通ってもらえるように努めていきます。
- (3) ご利用者様（ご家族様）、ケアマネジャーにモニタリング報告を徹底し、写真等を添えて情報提供をおこなう。密な連携を図ることにより、信頼関係の構築を目指します。

・業務内容の見える化

- (1) 職員の動態表の見直しを行い、マニュアル化をする
- (2) 利用者個別対応表を作成し、利用者様への均一的な対応が行えるようにする

・新規利用者の開拓及び広報活動

- (1) 居宅介護支援事業所に月1回訪問し顔のみえる関係作りを継続する
- (2) リーフレットや月間行事予定表を配布し、デイサービス利用時のレクリエーションや機能訓練内容をわかりやすく案内していきます。

・職員の資質向上と教育

- (1) 施設内外（オンデマンド）等の研修に参加して、利用者本位で物事が考えられるような意改革を目指します。
- (2) 職員教育を行う上で、教育担当者を配置する。職員が話しやすい環境を整え、雰囲気の良い職場環境を目指します。

【計画目標】 稼働率 86.5% 年間 8,112名

居宅介護支援事業所 定数4名

- ・介護支援専門員4名（内、主任介護支援専門員2名）を配置し特定事業所として実施いたします。
- ・地域の困難事例への支援、入退院時の医療との連携など他職種と連携を図り支援いたします。
- ・「大府市主任ケアマネの会」へ参加し、他の法人が運営する指定居宅介護支援事業者と共同で事例検討会など研修を開催し、地域のケアマネジャーの資質向上を図ります。
- ・「大府市介護支援専門員連絡協議会」の会員として目的に賛同し協力いたします。
- ・愛知県介護支援専門員実務研修の実習生を受け入れ、指導方法等習得し事業所内のケアマネジャーの資質向上を図ります。
- ・地域包括ケアシステムの構築に向けた法人全体の取り組みと合わせ、地域連携の入り口としての役割を担えるよう支援いたします。
- ・法人内の業務の効率化に向け、「サービス種別ごとに利用者が登録されている利用者を一本化」し、「福祉の森FUTURE」の利用者情報の統一を今後も継続いたします。

【計画目標】 要介護者 年間 1,300名 要支援者 年間 300名

ケアハウス 利用定員 30名

令和2年3月1日現在 30名（入院中 0名）
4月1日～11月1日 入所3名 退所3名

空室情報を関係機関等へ定期的にお知らせし、効率的に入居が出来るよう取組んで行きます。

平均入所期間も7年6ヶ月を超えて、全体的に長期的な利用となり、それに伴い支援を必要とされる方も増えて来ており、円滑に援助が行えるよう家族、ケアマネ、介護事業者等とのより緊密な連携を図って行きます。

コロナ禍でもあり生活支援の見直しを抜本的に行い、3密を避けた状態を常に意識して、入居者全体の支援から、少人数での支援に変更し、より入居者のニーズを探り、個々の満足度を充実させて行きます。

ご入居者様には安心・安全な生活を送って頂けるよう、食事の二部制、こまめな清掃、アルコール消毒、マスク着用の声かけの徹底、外出後の検温、並びに健康チェックシートの記入等、感染予防対策を継続して行きます。

ご入居者様にとって潤いのある生活を持ってもらうため、陶芸教室、健康体操、絵手紙教室等、生きがい活動について現在は中止をしておりますが、代表者と協議しながら新しい様式での支援が出来ないか検討して行きます。

毎月の買い物ツアーも実施しています。入居者の希望を確認しながら、周辺のスーパーマーケット等へ送迎を行い、感染予防に気を配りながら、地域の方との社会参加を含めた生活向上を支援して行きます。

買い物ツアー以外にも生活向上支援として、毎週定期的に食料品を中心とした移動販売車が来所されており、3密を避けて利用できるように、案内、誘導等も行います。

無料送迎を行って2年目になります。今後も、事前に行先等を伺い病院やスーパー等、生活支援に直結することを中心に送迎を行い、充実した社会生活を支援して行きます

機能訓練指導員の下、定期的に健康器具を使用して機能訓練を行い健康寿命の増進を図って行きます。

訪問歯科医院の協力を受け、希望するご入居者全員に無料による年1回歯科検診を実施するとともに、継続的な治療が必要なご入居者様には居室での歯科診療、義歯調整を行い、今後も継続して行きます。

管理栄養士と担当者による面談を定期的に行い嗜好、健康、日常生活、食事（献立）などの検討を行って行きます。

【計画目標】入居者 年間延べ330名

- ・グループホームは住み慣れた地域で出来るだけ家庭に近い環境で共同生活を送るホームです。
入居者様が出来る範囲で役割を持ち、個別ケアを充実させ、日常生活での食事、入浴等の援助をしていきます。
- ・献立から調理までの食事作りの回数を増やし、調理や買い物の楽しみを見つけ、社会参加や生活の向上を図りたいと思います。
- ・ホーム内で行っているレクレーションや行事をご家族様や地域の人にもアピールし、参加を促していきます。
- ・外部・内部研修に進んで参加し、認知症に関してより一層の向上に努めます。情報を職員間で共有し、入居者のサービスに役立てる様努めます。
- ・リハビリ体操や散歩等を積極的に取り入れ、残存機能の低下を防止いたします。

【計画目標】 稼働率 98% 入居者年間延べ6, 456名